

各 位

上場会社名 株式会社ジョイフル
 代表者 代表取締役社長 穴見 くるみ
 (コード番号 9942)
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 小野 哲矢
 (TEL 097-551-7131)

特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩し並びに平成 31 年 6 月期第 2 四半期連結業績予想と実績との差異及び平成 31 年 6 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 31 年 6 月期第 2 四半期におきまして、下記のとおり特別損失(固定資産の減損損失)の計上及び繰延税金資産を取崩すとともに、平成 30 年 8 月 12 日に公表いたしました平成 31 年 6 月期第 2 四半期連結累計期間(平成 30 年 7 月 1 日から平成 30 年 12 月 31 日)の連結業績予想と本日公表の同実績に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。また、平成 30 年 8 月 12 日に公表いたしました平成 31 年 6 月期(平成 30 年 7 月 1 日から平成 31 年 6 月 30 日)の通期連結業績予想を下記のとおり未定とさせていただきますのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失(固定資産の減損損失)の計上について

平成 31 年 6 月期第 2 四半期連結会計期間において、当社グループで保有する事業用資産のうち、営業活動から生ずる損益が継続してマイナスとなっている店舗について減損損失を計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、5億6千7百万円であります。

2. 繰延税金資産の取崩しについて

当社は、現時点での将来の課税所得を保守的に見積り、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、平成 31 年 6 月期第 2 四半期の連結決算において繰延税金資産を 3 億 9 千 9 百万円取り崩すこととし、法人税等調整額に計上いたしました。

3. 平成 31 年 6 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想と実績の差異(平成 30 年 7 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 38,200	百万円 1,700	百万円 1,700	百万円 900	円 銭 30.59
実績値(B)	37,284	1,047	1,020	△302	△10.28
増減額(B-A)	△915	△652	△679	△1,202	
増減率(%)	△2.4	△38.4	△39.9	—	

4. 平成 31 年 6 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想と実績の差異の理由

売上高につきましては、前年同四半期(平成 29 年 7 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)比 38 億 5 千 7 百万円の増加を見込んでいたものの、客数が予想を下回ったことにより、前回発表より 9 億 1 千 5 百万円少ない 37 億 2 千 8 百万円となりました。

営業利益及び経常利益につきましては、原材費のコントロールは達成したものの、売上高が予測値を下回る中、人手不足に伴う求人費、人件費の高騰などにより、営業利益は前回発表より 6 億 5 千 2 百万円少ない 10 億 4 千 7 百万円、経常利益は前回発表より 6 億 7 千 9 百万円少ない 10 億 2 千万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は固定資産の減損による特別損失が予測値を上回ったこと及び繰延税金資産を取り崩したこと等により、前回発表予想より 12 億 2 百万円少ない 3 億 2 百万円の損失となりました。

5. 平成 31 年6月期の連結業績予想(平成 30 年7月1日～平成 31 年6月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 74,300	百万円 2,300	百万円 2,300	百万円 1,200	円 銭 40.79
今回修正予想(B)	未定	未定	未定	未定	未定
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	

6. 修正の理由

平成 31 年6月期(通期)の連結業績予想につきましては、平成 31 年6月期第2四半期(累計)連結業績の実績を踏まえ、今後の業績推移等を現在精査中でありますので、未定とさせていただきます。今後の業績推移等の精査が完了次第、速やかに公表いたします。

※配当につきましては年間 20 円(中間配当 10 円、期末配当 10 円)の予定に変更はありません。

以上